

香川大学D&I推進ムーブメント

担当部局・部署名：医学部「看護男子応援プログラム」担当

推進プラン名：医学部看護学科「看護男子応援プログラム」

対 象： 看護男子学生、男性看護教員、男性看護師

概 要： 香川大学医学部看護学科学生のうち、男子学生の占める割合は5%前後であり、入学から卒業までに中途挫折の比率は女子学生に比べて圧倒的に高い。
そこで、少数男子学生「看護男子」に対する男性看護教員による相互交流の場を確保し、就学における応援を促進することを目的とし以下の活動を行う。
具体的には、①入学後の「新入生看護男子と男性看護教員との交流会」、②毎年、年度中間期における「看護男子と看護教員の交流会」、③就職ガイダンス時期における看護男子と附属病院男性看護師との交流会」を実施することである。



参加状況と内容

- 1年生 5名 (電話で1名参加)
- 2年生 4名
- 3年生 1名
- 教員 1名

昼食をとりながら、前期の履修状況を含めた近況の報告をそれぞれ行った。定期テストで追試を受けたりしている学生もいるが、楽しく学習できている様子。1年生で本会を欠席した学生も電話で参加した。履修についてのアドバイスを先輩学生にもらっていた。

感想

- 1年・2年は総じて支え合いつつ仲良く学べている様子。学年間の交流も出来つつある。
- 一方3年生は1人なので、実習に向けて不安であると話してくれた。相談はいつでもどうぞと声かけしている。
- 4年生は不参加だった。
- 次回は年度末、2月か3月を予定している。

新入生の歓迎会

- 場所：613室
- 日時：令和5年4月5日（水） 16時～17時
- 参加者：1年生5名 2年生2名 3年生1名 4年生1名 教員：林助教



- 自己紹介で出身や趣味、出身地大学で入ろうとしている部活等について語りました。
- 上級生からは、看護学科男子の処世術として、グループワーク等は自分から積極的に話しかけて輪に入っていくことの重要性和、先輩とつながりを持つことで各科目の試験の傾向と対策ができるので学年を超えて交流していくことの大切さを伝えてました。
- 所感としては、新入生はオリエンテーションの疲れからかあんまり乗り気がじゃなかった印象でしたが、実際会をもってみると、楽しそうに上級生と交流していました。
- 上級生も後輩が出来たのが嬉しそうで、親身になってアドバイスをしていました。
- 学生同士連絡先を交換して、継続して関わっていけそうです。
- 集まってくれた学生が成長していくにつれ大きな力になるような気がいたしました。
- 次回は、第1 Semesterが終わる夏ころに開催する予定です。